

# Rinnai

リンナイ株主通信

第42号

第65期 報告書

2014年4月1日～2015年3月31日



証券コード 5947

<http://www.rinnai.co.jp/>



代表取締役会長 内藤 進



代表取締役社長 内藤 弘康

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第65期(2014年4月1日から2015年3月31日まで)における営業ならびに決算の概況と今後の戦略につきまして、ご説明申し上げます。

当期における世界経済は、米国では景気回復が順調に進み、欧州では緩やかな持ち直し傾向を示すなど改善の方向へ推移しました。一方、中国をはじめとするアジア諸国では景気拡大に鈍化の傾向が見られました。

国内経済は、当期前半において消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減によって弱い動きとなったものの、後半には各種政策効果や企業収益の改善などにより回復の兆しが見られました。国内の住宅設備業界は、リフォームや住宅設備機器の買い替え需要が底堅く推移しているものの、新設住宅着工戸数は前年水準を下回る動きが長引くなど、厳しさが続きました。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画「ジャンプUP 2014」の最終年度にあたり、総合熱エネルギー機器メーカーとして商品ラインアップを拡充し、人々の暮らしと地球環境に貢献すべく、グローバルな事業活動を進めてまいりました。

販売面につきましては、国内は消費税率引き上げに伴う住宅設備業界の需要低迷が続き、売上高は減少いたしました。一方、海外は中国や韓国で給湯機器販売が好調であったことに加え、リンナイインドネシアの連結子会社化などによって、全体の売上高は増加いたしました。損益面では、為替の好影響や海外の増収効果はあるものの、国内の需要減少により減益となりました。この結果、当期の実績は、後記のとおりとなりました。なお、期末配当金を前期比2円増配の1株につき38円、年間配当金では前期比8円増配の76円とさせていただきます。

当社グループは2015年度(2016年3月期)を初年度としてスタートした中期経営計画「進化と継承 2017」を新たに策定いたしました。過去から培ってきた「リンナイ精神」を『継承』し安定的に事業を継続する一方、今後予測される新たな時代の変化に対応すべく『進化』を遂げてまいります。さまざまな事業環境の変化を先読みしながら、ビジネスモデルの革新によって新たな商品・サービスを創出し、総合熱エネルギー機器メーカーとしてのブランド確立を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月

代表取締役会長

内藤 進

代表取締役社長

内藤 弘康

## 安全・安心、快適かつ環境に良い“熱と暮らし”を世界に提供する。 それが、リンナイの使命です。



代表取締役社長 内藤 弘康

### 2015年3月期概況

#### Q 国内外での概況を教えてください。

2015年3月期において、海外ではインドネシアを連結化し、主要連結子会社が好調に推移しました。特に、高機能タイプの給湯器ニーズが高まる中国において、リンナイ製品の売上が伸びています。一方、国内では消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減を受けて売上・利益ともに前期比で減少した結果、売上高2,950億円(前期比2.8%増)、営業利益307億円(前期比9.5%減)となりました。

#### Q 前中期経営計画「ジャンプUP 2014」を終えて成果は？

2012年4月からの3カ年中期経営計画「ジャンプUP 2014」では3つの重点施策を掲げました。1つ目の「品質レベルUP」は、緻密な生産管理、重要部品の内製化を基本としつつ、国内では毎月、お客さまからの細かなクレームを含むご意見を全部門で共有する取り組みを継続しています。

2つ目の「機動力UP」における具体的な取り組みとして、リンナイでは商品企画の段階から製造・生産部門が関わる仕組みとしました。最初から開発・販売・生産が連携することで、最適な自動化生産ラインを実現でき、コストを抑制しながら高品質な商品を提供することにつながっています。

2020年(リンナイ100周年)へ向け、  
総合熱エネルギー機器ブランドとして大きく飛躍

#### 目指す姿

##### 商品ビジョン

地球環境に貢献する総合熱エネルギー機器メーカー

##### 地域ビジョン

世界の人々の暮らしの向上に貢献するグローバル企業

##### 機能ビジョン

独自のビジネスモデルが人やパートナーを惹きつける企業

# リンナイの経営戦略

グローバル化を念頭においた3つ目の「組織力UP」でも着実に成果が表れています。現在、リンナイグループは16カ国に海外子会社を展開し(うち9カ国に製造拠点)、現地生産・現地販売、現地の人材を経営トップとするケースが多いなど、各国・地域に根ざした経営を基本としています。

最終年度となった2015年3月期では国内環境の影響で残念ながら目標には到達しませんでした。当初の3カ年目標を大きく上回り、また上記のとおり、着実に事業基盤が強化されたと自負しています。

## 新中期経営計画「進化と継承 2017」

### ② 2015年4月からスタートした 新3カ年計画について教えてください。

リンナイの使命は世界を舞台に「熱を通じて快適な生活を社会に提供」することにあります。しかし、変化が厳しい事業環境に対応しながら、持続的に社会に貢献するためには、グループ各社がリンナイの創業精神—従来培ってきた「品質こそ我が命」の原点思想や、全社一丸となって取り組む企業文化など—品質とモノづくりへのこだわりを継承しつつ、これから絶え間なく押し寄せる大きな変化を乗り越えるためにそれぞれの地域のニーズに合ったビジネスモデルを革新し続けなければなりません。

既存の商品やサービスをタイムリーに提供することと、社会に役立つ新しい商品・サービスを創出することを両立するとともに、国内のエネルギー自由化や労働人口の減少

などといったこれから起きる環境変化への対応も同時に行っていかなければいけません。そのためには、システム商品や、海外売上上の拡大が必要で、組織の活性化、人材の育成・業務の効率化などといった企業や人の力を向上させ取り組んでまいります。

新中期経営計画「進化と継承 2017」の3カ年では改めて国内・海外での重点課題に取り組み、総合熱エネルギー機器メーカーとしてのブランド確立を目指します。

### ③ 国内事業での主要テーマは？

一番のテーマは商品の“高度化”です。日本ではテーブルコンロからシステムコンロ、給湯単能機から追いだき付給湯器、そして給湯暖房機へと段階的に高機能商品の普及が進んできました。現在の熱機器においては、安全・安心、快適性に加え、日本では家庭で使用されるエネルギー総量の50%超を給湯・暖房分野が占めるなど、高い環境性能が不可欠です。リンナイでは高効率給湯器エコジョーズと電気のヒートポンプを組み合わせたハイブリッド給湯・暖房システム「ECO ONE(エコワン)」をはじめとしたシステム商品の売上構成比率を戦略的に高めていきたいと考えています。

また、温度センサー付コンロの義務化がコンロ火災発生件数を低減させるなど、生活に密着した熱機器の高度化は社会問題の解決に寄与する側面があります。近年は浴室暖房乾燥機が、高齢化が進むなかでのヒートショック\*対策や、

### 前中期経営計画「ジャンプUP 2014」 (2012年4月～2015年3月)

#### 3つのジャンプUP

1. ゼロディフェクトの追求で品質レベルUP
2. 開発・生産・販売のプロセス革新で機動力UP
3. 人づくりとグループ連携で組織力UP



### 新中期経営計画「進化と継承 2017」 (2015年4月～2018年3月)

#### 進化への挑戦

1. 環境変化への対応
2. 進化のための重点課題推進
3. ビジネスモデルの革新

#### リンナイ精神の継承

「品質こそ我が命」  
「熱を通じて快適な暮らしを  
社会に提供する」

2015年3月期(実績)	
売上高	2,950億円
営業利益	307億円
営業利益率	10.4%

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
売上高	3,180億円	3,370億円	3,500億円
営業利益	340億円	370億円	390億円
営業利益率	10.7%	11.0%	11.1%

花粉の飛び季節などに洗濯物の外干しを避けるといった要望に応える商品として好調です。環境に配慮し、家全体を快適かつ安全・安心に保つ仕組みを効率的に完備・運用できる点がリンナイのシステム商品の人気につながっています。

※ **ヒートショック**: 急激な温度変化が身体に及ぼす影響。特に冬の入浴は温度の変化により血圧が急激に上昇したり下降したりするため、心臓に大きな負担がかかります。ご高齢の方や血圧の高い方は特に注意が必要です。

## Q グローバル戦略の鍵となるポイントは？

今後の3カ年ではグループ会社間の連携をさらに進化させ、グローバル技術ネットワークを発展させていきたいと考えています。リンナイグループは各国・各地域のニーズに即した独自性の高い商品開発が強みです。今後は、日本の要素技術を核として、各社が連携することで地域ごとの各商品—例えば中国のグローバル給湯器、韓国の高効率ボイラー、ASEANのビルトインコンロ、オーストラリアの業務用連結給湯器など—を水平展開させていくことを視野に入れています。

## Q 成長が著しい中国市場におけるリンナイの強みとは？

中国都市部では、当社製品においても普及型から高機能商品へシフトする動きが高まっています。すでに日本において同様の推移を経験しており、長年のお客様とのやりとりで培った品質管理のノウハウがリンナイブランドの信頼につながっています。

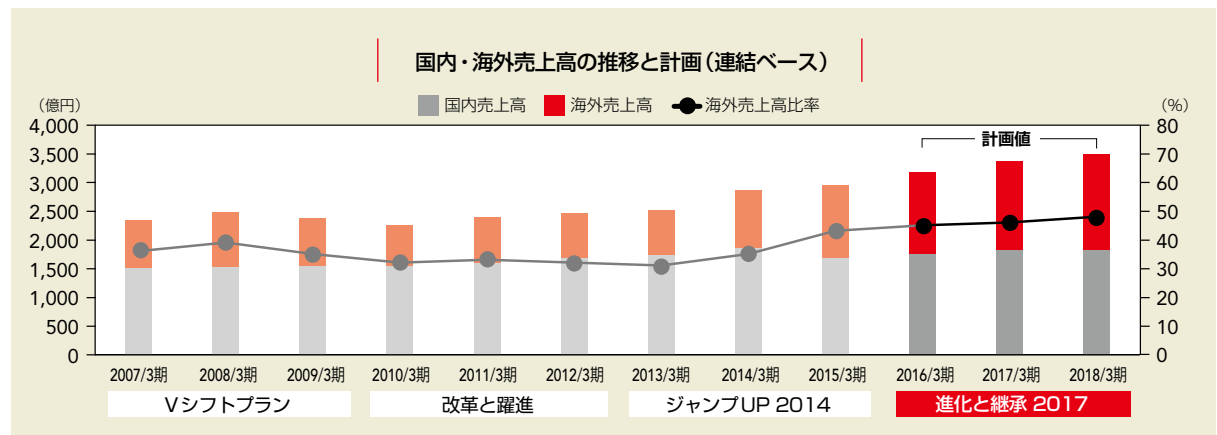
現在、中国の主力ガス会社との提携を通じて、販売チャネルを中国全土に広げています。2015年9月からは、上海市奉賢区の新工場が段階的に稼働し、生産能力は従来と比較して2倍に拡大(給湯器100万台、コンロ50万台)する見通しです。

## Q 他地域でのM&A戦略、また中期的な海外比率のイメージは？

2015年2月にはオーストラリア市場におけるシステム商品化を推進する一環として冷暖房機メーカー Brivis(ブライビス)社を買収しました。今後も既進出国・地域ごとの戦略推進対応、また、未進出国・地域での新たな事業展開のために、M&Aを含むネットワークの拡充を適宜進めたいと考えています。過去10年で海外売上高は倍増し1,000億円規模に拡大していますが、中期的には海外売上高2,000億円規模を目指します。

## Q 株主へのメッセージをお願いします。

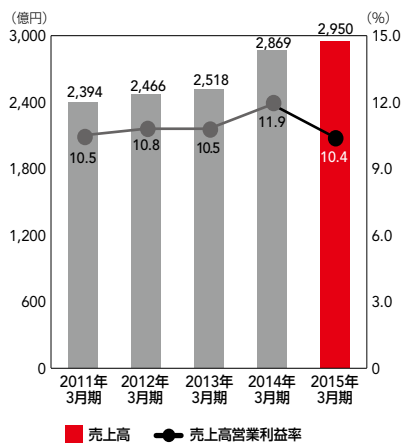
当社は2015年3月期末において13期連続で増配しています。リンナイは中長期的な視野で事業成長を続け、それにより安定的に株主の皆さまに還元してまいります。今後ともステークホルダーの皆さまにはご理解とご支援を賜りたくよろしくお願い申し上げます。



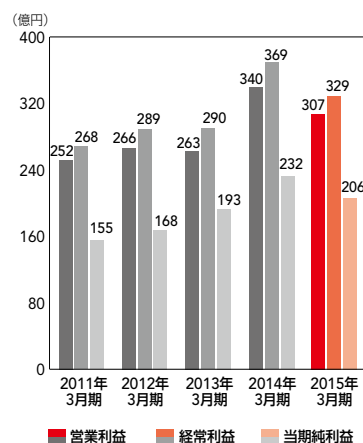
## 2015年3月期のポイント

- 連結売上高は、国内の消費税引き上げによる需要減を、堅調に推移した海外事業やインドネシアの連結化がサポートし**5期連続の増収**
- 利益貢献度の高い国内やオーストラリアの利益減が響き、**営業減益**
- 営業減益にともない**経常利益・当期純利益も減少**するが、売上高経常利益率11.2%の水準を確保

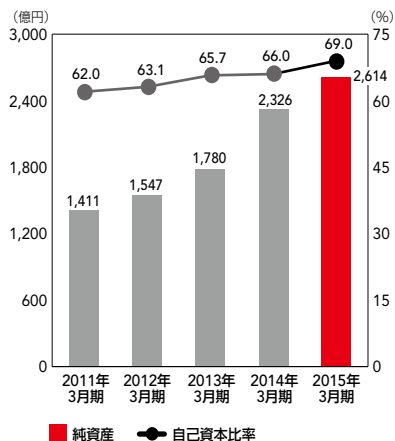
### 売上高、売上高営業利益率



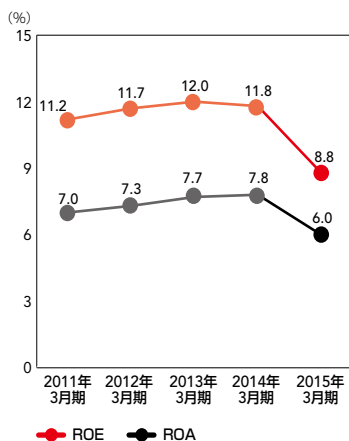
### 営業利益、経常利益、当期純利益



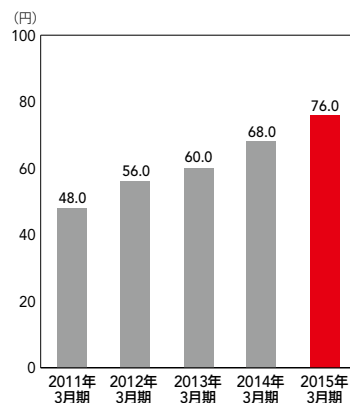
### 純資産、自己資本比率



### ROE、ROA



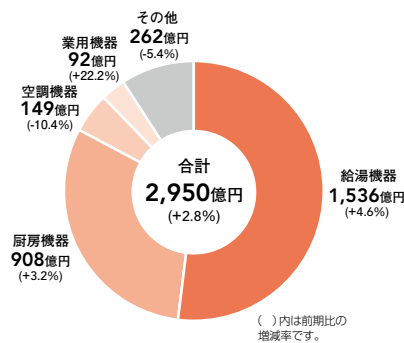
### 1株当たり配当金(年間)



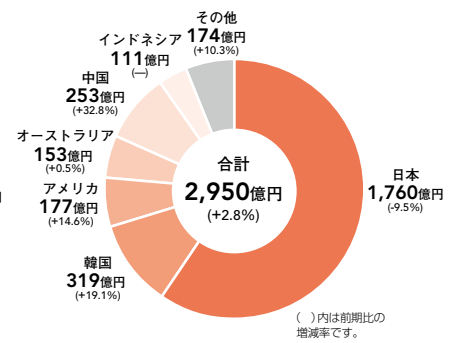
## 機器別売上高のポイント

- 給湯機器：国内市場における売上減の一方、アメリカや中国での販売好調や韓国での高効率ボイラー伸長により**増収**
- 厨房機器：テーブルコンロを中心に国内販売が減少する一方、韓国でのセンサー化による単価アップやインドネシアの連結化などの影響で**増収**
- 空調機器：アメリカではFF暖房器の販売台数が増加するも、それ以外のエリアでは需要減や暖冬の影響で苦戦し**減収**

### 機器別売上高

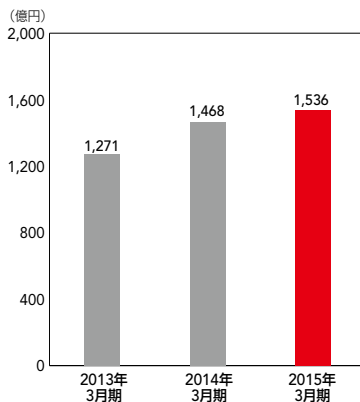


### 地域別売上高

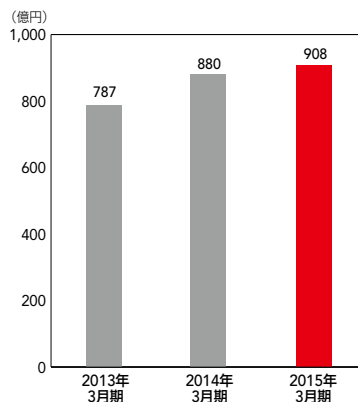


主要製品	部門主要製品
給湯機器	給湯器、ふる給湯器、給湯暖房機、ハイブリッド給湯・暖房システム等
厨房機器	テーブルコンロ、ビルトインコンロ、ビルトインレンジ、食器洗い乾燥機、炊飯器等
空調機器	ファンヒーター、FF暖房機、赤外線ストーブ等
業用機器	業務用焼物器、業務用レンジ、業務用炊飯器等
その他	衣類乾燥機、赤外線バーナー、部品等

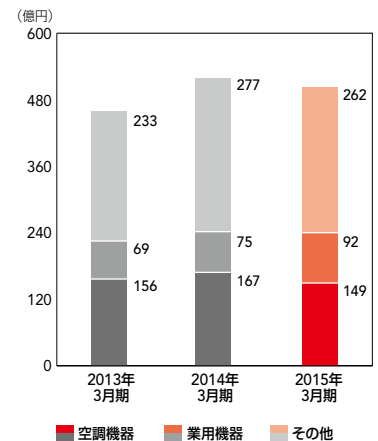
### 給湯機器 売上高



### 厨房機器 売上高



### 空調機器、業用機器、その他 売上高

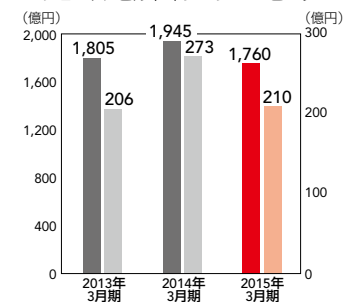


地域別概況

日本



高効率給湯器 エコジョーズ  
レンジフード ビルトインコンロ  
ファンヒーター



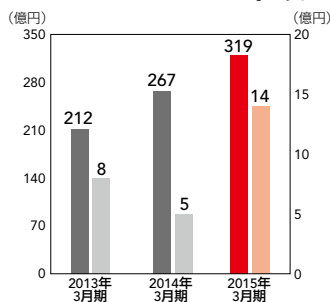
消費税率引上げによる住宅市場の  
需要減が長期化し **減収減益**

■ 売上高 ■ 営業利益

韓国



テーブルコンロ ボイラー  
業務用スチームオーブン



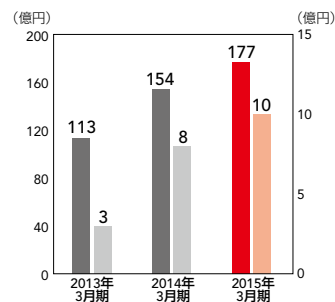
コンロの単価アップ継続や  
ボイラー伸長により **増収増益**

■ 売上高 ■ 営業利益

アメリカ



タンクレス給湯器 ボイラー  
FF暖房機



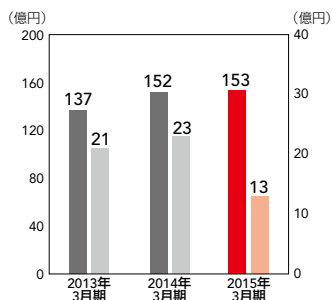
堅調な住宅市場をベースに給湯、  
暖房ともに販売が増加し **増収増益**

■ 売上高 ■ 営業利益

オーストラリア



タンクレス給湯器 FF暖房機  
ソーラー給湯システム

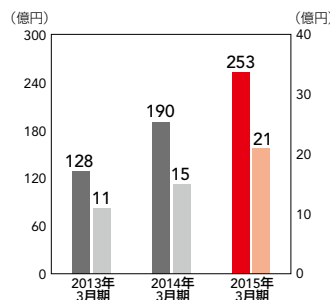


給湯器の販売が回復する一方、暖冬による  
暖房機の販売減やコスト増などにより **増収減益**

中国



タンクレス給湯器 ビルトインコンロ  
レンジフード

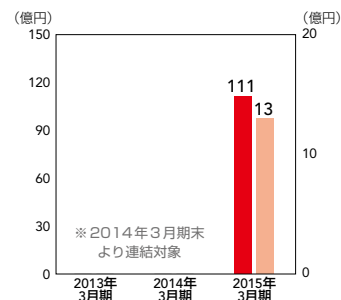


順調なガス機器需要に加え、  
販売エリア拡大を背景に **増収増益**

インドネシア



テーブルコンロ ビルトインコンロ



前期末より連結子会社化し、ガステーブル  
コンロのシェアトップで **売上高111億円**

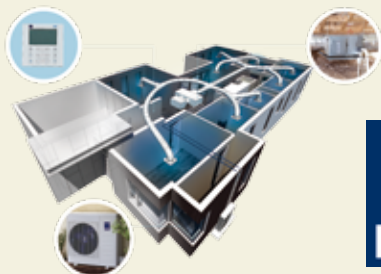


## オーストラリアの冷暖房機メーカー

### Brivis Climate Systems Pty Ltd の買収

連結子会社であるリンナイオーストラリアが、オーストラリアで多数の住宅設備ブランドを保有するGWA Group Limited（オーストラリア証券取引所上場）傘下の冷暖房機メーカー Brivis Climate Systems Pty Ltd を2015年2月2日に買収しました。

リンナイは、オーストラリアにおいて1970年代に暖房機器を、1990年代からはタンクレス給湯器の販売を開始し、オーストラリア市場でガス機器トップメーカーの一つとして事業を展開してきました。このたび、空調機器に強みを持つ Brivis社を傘下に加えることで、海外戦略の一翼を担うオセアニア市場におけるビジネスのさらなる強化をはかります。



### Brivis (ブライビス) 社について

オーストラリアの空調機器の主流であるダクト式冷暖房機を製造しており、ビルダー（建設業者）ルートへの強みを持っています。

売上高	: 62,455千豪ドル
純資産	: 49,227千豪ドル ※2014年6月期
取得価額	: 49,352千豪ドル
設立年	: 1950年

※ リンナイオーストラリアの決算日は12月31日であり、Brivis社は2016年3月期より連結子会社となります。

## リンナイトテクニカ

### 新工場棟および厚生棟の新設

連結子会社であるリンナイトテクニカ（住所：静岡県掛川市、生産品目：ガス給湯器、ガス給湯器用熱交換器など）は、2015年3月に工場敷地内に新工場棟および厚生棟を新設しました。工場棟増築は、生産体制の増強・部品加工体制の充実による内製化の推進を目的としています。高効率ガス給湯器（エコジョーズ）の生産拡充により、環境対応を一層推進するとともに、今後も成長が見込まれるアメリカを中心とした海外向け製品の生産増強をはかります。

## 消費者の“本音”で誕生

### ガステーブルコンロ「HOWARO」をモデルチェンジ

インターネット販売限定の白いガステーブルコンロ「HOWARO（ホワロ）」の第三世代モデルを、2015年4月に発売しました。

「HOWARO」のインターネットサイトに寄せられた1,200件を超える購入者アンケートの意見をもとに、「デザイン性」、「調理性」、「お手入れ性」の全てをパワーアップ。白をさらに追求し、より洗練されたデザインへと変更しました。デザインだけでなく、グリルを使った調理性や清掃性もアップし、お客さまの“本音”をカタチにモデルチェンジしました。



HOWARO ホワロ

### 「HOWARO」の特長

- 白へのこだわりをさらに追求！点火つまみは選べる7色展開
- 洗練されたデザインに進化
- 汚れを落としやすくお手入れラクラク



写真左：新工場棟、写真右：厚生棟

特集

エコワン

# ハイブリッド給湯・暖房システム **ECO ONE** 第三世代モデルを発売！

2010年に初めて登場したECO ONEは、ヒートポンプと高効率給湯器（エコジョーズ）を組み合わせたハイブリッド給湯・暖房システムです。2015年4月に発売した第三世代モデルでは世界トップレベルの省エネ性をさらに高めました。

リビングなど  
家族憩いの場に  
床暖房

子供部屋  
などに  
温水ルーム  
ヒーター

トイレや  
脱衣所に  
パネルヒータ

浴室に  
浴室暖房乾燥機

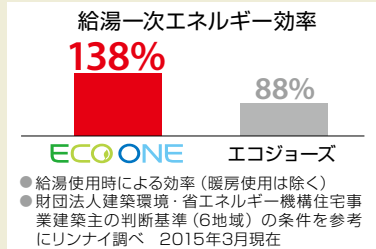
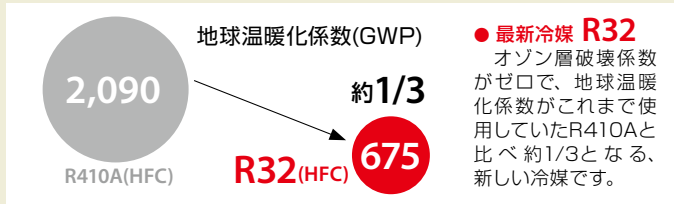
**電気 × ガス**

ECO ONEは暮らしの時間帯や用途に合わせて電気のヒートポンプとガスのエコジョーズを最適に使い分けます。

## 特長 1 省エネ性の向上と環境負荷のさらなる低減

第二世代モデルの129%を超えて、給湯一次エネルギー効率\*138%を達成。今回新たに、次世代冷媒として注目を集めている「R32」を採用し、地球温暖化防止と省エネに大きく貢献します。

\*一次エネルギー効率：最終エネルギー消費をまかなうために利用されたエネルギー量を、投入された一次エネルギーの量に換算した効率。



## 特長 2 ニューデザインと施工性の向上

住宅様式のトレンドに合わせてシャンパンメタリックを採用。施工性も大幅に改善し、現場の負担を軽減します。さらに、柔軟なレイアウトを実現し、狭小地においても一体型の設置が可能になります。



## 特長 3 新コントロールモードの開発

新型リモコンには、新たなコントロールモードを搭載することで家庭での省エネとコスト低減をサポートします。

### ● 太陽光発電モード

太陽光で発電している時間帯にヒートポンプ沸き上げを3つのモードで制御が可能。変動する太陽光発電の買取価格に適応して運転モードを選択できます。

### ● 時間帯別料金モード

電力料金が多様化する中、日中在宅していない共働き世帯などのライフスタイルに合わせた時間帯別電気料金契約に対応。お得な運転方法を判別してお湯を沸かします。



## 連結貸借対照表 (単位：百万円)

当期 (2015年3月31日現在)

前期 (2014年3月31日現在)

	当期	前期		当期	前期
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>206,111</b>	<b>213,520</b>	<b>流動負債</b>	<b>79,805</b>	<b>88,495</b>
現金及び預金	60,730	57,540	支払手形及び買掛金	47,870	52,142
受取手形及び売掛金	63,889	68,102	短期借入金	1,976	5,950
有価証券	41,112	53,491	未払金	11,031	11,591
商品及び製品	21,670	17,397	未払消費税等	1,671	1,330
原材料及び貯蔵品	12,812	11,696	未払法人税等	4,719	7,701
繰延税金資産	4,022	3,875	賞与引当金	3,377	3,127
その他	2,518	2,140	製品保証引当金	2,608	2,387
貸倒引当金	△ 644	△ 725	その他	6,550	4,265
<b>固定資産</b>	<b>151,395</b>	<b>120,861</b>	<b>固定負債</b>	<b>16,286</b>	<b>13,251</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>56,841</b>	<b>51,186</b>	繰延税金負債	8,007	5,474
建物及び構築物	18,880	16,278	退職給付に係る負債	5,291	5,067
機械装置及び運搬具	13,205	11,857	その他	2,986	2,709
工具、器具及び備品	5,200	3,981	<b>負債合計</b>	<b>96,091</b>	<b>101,747</b>
土地	16,481	15,140	<b>純資産の部</b>		
リース資産	204	208	<b>株主資本</b>	<b>223,065</b>	<b>208,249</b>
建設仮勘定	2,869	3,720	資本金	6,459	6,459
<b>無形固定資産</b>	<b>4,365</b>	<b>4,312</b>	資本剰余金	8,719	8,719
<b>投資その他の資産</b>	<b>90,187</b>	<b>65,362</b>	利益剰余金	208,866	194,036
投資有価証券	64,163	44,554	自己株式	△ 979	△ 965
退職給付に係る資産	20,068	14,804	<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>23,559</b>	<b>12,538</b>
繰延税金資産	819	1,140	その他有価証券評価差額金	5,921	3,048
その他	6,058	5,479	為替換算調整勘定	10,046	5,561
貸倒引当金	△ 922	△ 616	退職給付に係る調整累計額	7,591	3,929
<b>資産合計</b>	<b>357,506</b>	<b>334,382</b>	<b>少数株主持分</b>	<b>14,789</b>	<b>11,846</b>
			<b>純資産合計</b>	<b>261,414</b>	<b>232,635</b>
			<b>負債 純資産合計</b>	<b>357,506</b>	<b>334,382</b>

## 連結損益計算書 (単位：百万円)

当期 (2014年4月1日から2015年3月31日まで)  
前期 (2013年4月1日から2014年3月31日まで)

	当期	前期
売上高	295,022	286,981
売上原価	203,836	196,858
売上総利益	91,186	90,123
販売費及び一般管理費	60,399	56,104
<b>営業利益</b>	<b>30,787</b>	<b>34,018</b>
営業外収益	2,912	3,413
営業外費用	762	521
<b>経常利益</b>	<b>32,938</b>	<b>36,910</b>
特別利益	—	124
税金等調整前当期純利益	32,938	37,034
法人税等	10,207	12,709
少数株主損益調整前当期純利益	22,730	24,325
少数株主利益	2,083	1,070
<b>当期純利益</b>	<b>20,647</b>	<b>23,254</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

当期 (2014年4月1日から2015年3月31日まで)  
前期 (2013年4月1日から2014年3月31日まで)

	当期	前期
営業活動によるキャッシュ・フロー	25,671	36,453
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,649	△32,908
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,659	13,183
現金及び現金同等物の期末残高	69,340	74,279

# 会社データ・株式の状況

## 会社概要 (2015年3月31日現在)

創 業	1920(大正9)年9月1日
設 立	1950(昭和25)年9月2日
資 本 金	6,459,746,974円
本 社	〒454-0802 名古屋市中川区福住町2-26 TEL 052-361-8211 (代表)
従業員数	連結9,682名、単体3,630名

## 国内ネットワーク (2015年3月31日現在)

生産関連拠点: 技術センター、生産技術センター、総合物流センター、リンナイパーツセンター、大口工場、瀬戸工場、旭工場、暁工場

支社: 東北、関東、中部、関西、九州

支店: 北海道、仙台、新潟、東京、北関東、東関東、南関東、名古屋、静岡、北陸、長野、大阪、京滋、兵庫、中国、四国、福岡

営業所・出張所等: (76カ所)

その他国内事業所: 研修センター(10カ所)、お客様センター(2カ所)

## 役員 (2015年6月26日現在)

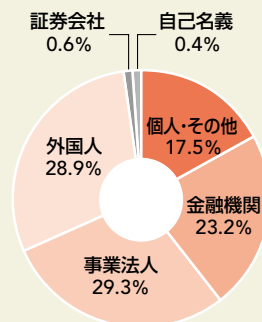
代表取締役会長	内藤 進	常務執行役員	長坂 隆	監査役(常勤)	後藤 靖彦
代表取締役副会長	林 謙治		吉田 雄三	監査役	堤 俊紀
代表取締役社長 社長執行役員	内藤 弘康		兼子 輝将		福井 清晃
代表取締役 副社長執行役員	成田 常則	執行役員	森 錦司		南館 欣也
取締役 常務執行役員	小杉 将夫		瀧 泰生		
	近藤 雄二		山田 一彦		
取締役	松井 信行		石川 治彦		
			石川 文信		
			中島 忠司		
			田中 真二		
			松本 和彦		
			遠藤 健治		
			進士 克彦		

(注) 1. 取締役の松井信行は、社外取締役であります。  
2. 監査役の福井清晃、南館欣也は、社外監査役であります。

## 株式構成 (2015年3月31日現在)

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式数	52,216,463株 (自己株式を含む)
株主数	4,542名

## 所有者別株式分布



## リンナイグループ (2015年3月31日現在)

### 国内子会社 (14社)

#### 製品の製造

- (株) 柳澤製作所
- リンナイテクニカ (株)
- グランシュトラール (株)

#### 部品の製造

- アール・ビー・コントロールズ (株)
- リンナイ精機 (株)
- アール・ティ・エンジニアリング (株)
- ジャパンセラミックス (株)
- 能登テック (株)
- テクノパーツ (株)

#### 製品の販売

- リンナイネット (株)
- アール・ジー (株)

#### その他の事業

- リンナイ企業 (株)
- リンナイテック北陸 (株)
- リンナイ興業 (株)

### 海外子会社・関連会社 (27社)

#### 持株会社および製品の販売

- リンナイホールディングス (パシフィック) (株)

#### 製品の販売

- リンナイアメリカ (株)
- 林内香港有限公司
- リンナイカナダホールディングス (株)
- 上海林内熱能工程有限公司
- リンナイプラス (株)
- 広州林内燃具電器有限公司
- リンナイマレーシア (株)
- リンナイUK (株)
- リンナイイタリア (株)
- 海南林内民生燃具厨衛販売有限公司

#### 製品の製造販売

- リンナイオーストラリア (株)
- リンナイニュージーランド (株)
- 台湾林内工業 (株)

- リンナイコリア (株)
- 上海林内有限公司
- リンナイタイ (株)
- リンナイベトナム (有)
- リンナイブラジルヒーティングテクノロジー (有)
- リンナイインドネシア (株)

#### 部品の製造販売

- アール・ビー・コリア (株)
- アール・エス・コリア (株)
- 上海燃宝控制器有限公司
- 三国 RK 精密 (株)

#### その他の事業

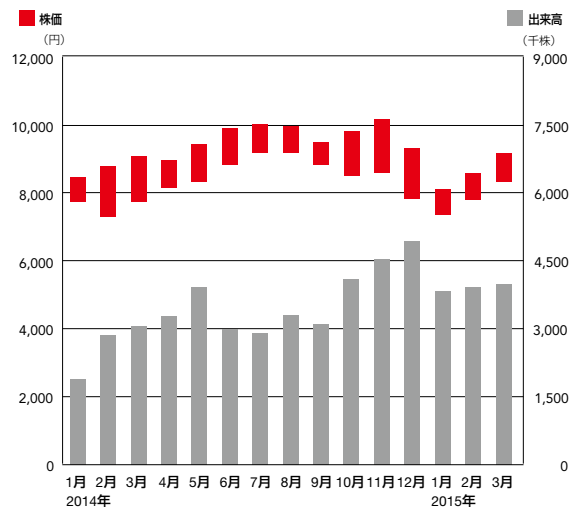
- ジョーダンズNSW (株)
- ガスアプライアンスサービス (株)
- リンナイサービス (MS) (株)

● 連結子会社    ■ 非連結子会社    ■ 持分法非適用関連会社

## 大株主 (2015年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)
内藤株式会社	6,215
株式会社好兼商事	4,002
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,081
林 謙治	2,502
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,563
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口 9)	1,374
内藤 進	1,250
東京瓦斯株式会社	784
ビーエスピー・パルバセックサービスルケンブルグジャステックア(ディーノ)グループ(ルケリアント)アセツ	744
日本生命保険相互会社	720

## 株価の推移



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 <a href="http://www.rinnai.co.jp">http://www.rinnai.co.jp</a> ただし、事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031(フリーダイヤル) 受付時間：平日9:00～17:00 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
株式の上場	東京および名古屋証券取引所 市場第1部

### 株式に関するお手続きのお申し出先について

- 未払配当金の支払いのお申し出先  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申し出先
  - 証券会社に口座をお持ちの株主様の場合  
お取引証券会社等
  - 証券会社に口座をお持ちでないため、特別口座が開設されました株主様の場合  
三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。な

お、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

### 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。

なお、株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等(特別口座の場合は特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社)にお問い合わせください。

かんたん 便利♪

交換部品やお手入れ用品はネットショップで注文できます！

リンナイススタイル  
**R.STYLE**



<http://www.rinnai-style.jp>

リンナイススタイル

検索



リンナイ公式部品販売サイトリンナイススタイルでは、リンナイ製品をより快適に使っていただくためにお客様自身で取り替えられる交換部品やお手入れ用品を販売しています。